

日光白根山の火山活動解説資料（平成 26 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 1）
歌ヶ浜（日光白根山の南東約 13 km）に設置にしてある遠望カメラによる観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。
- ・地震活動（図 2 - 、図 3）
日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）
GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

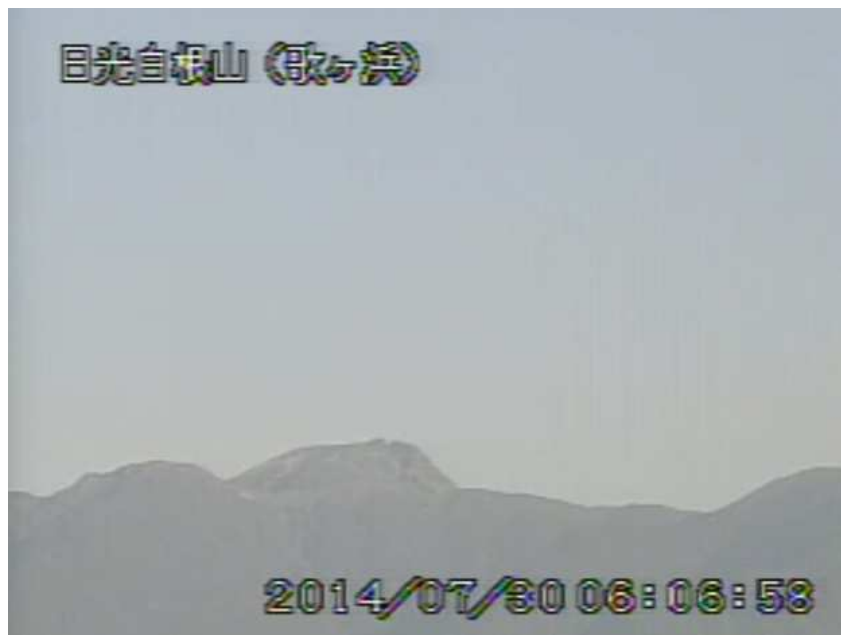


図 1 日光白根山 山頂部の状況
（7 月 30 日 歌ヶ浜遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 8 月分）は平成 26 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

計数基準変更

開始 2010年12月10日～2011年3月10日
 変更 2011年3月11日～2013年6月30日
 変更 2013年7月1日～

計数基準：五色沢振幅 1.0 $\mu\text{m/s}$ 以上、S - P1.5 秒以内
 計数基準：五色沢振幅 10.0 $\mu\text{m/s}$ 以上、S - P1.5 秒以内
 計数基準：五色沢振幅 2.0 $\mu\text{m/s}$ 以上、S - P1.0 秒以内

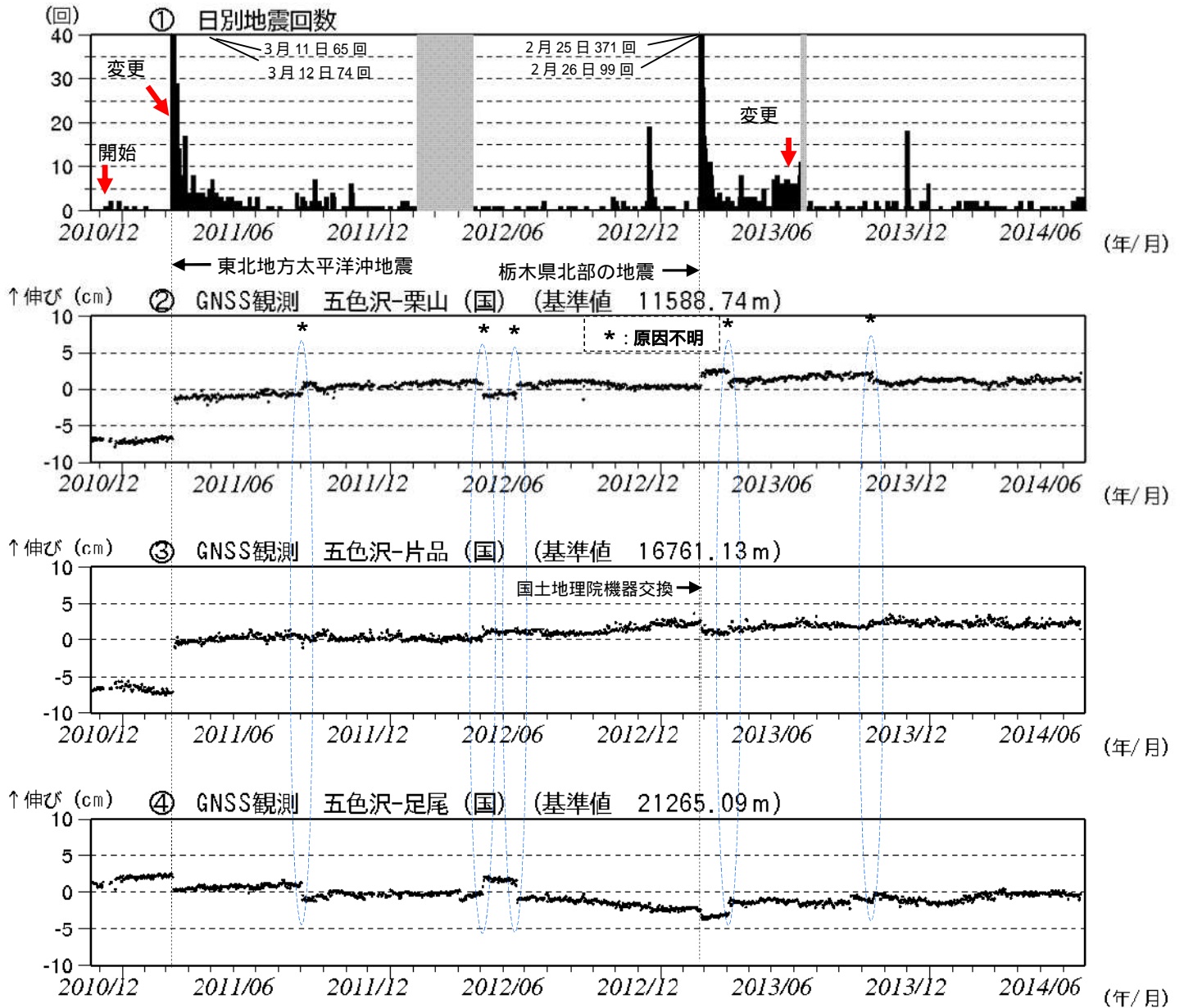


図2 日光白根山 火山活動経過図（2010年11月20日～2014年7月31日）

日光白根山周辺の日別地震回数

- ・2010年12月10日観測開始
- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
- ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。

～ GNSS 連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

- ・五色沢観測点の運用開始日：2010年11月20日
- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・青い破線で示したデータの飛びの原因は不明です。
- ・2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・グラフの空白部分は欠測を示します。
- ・～ は図4の ～ に対応しています。

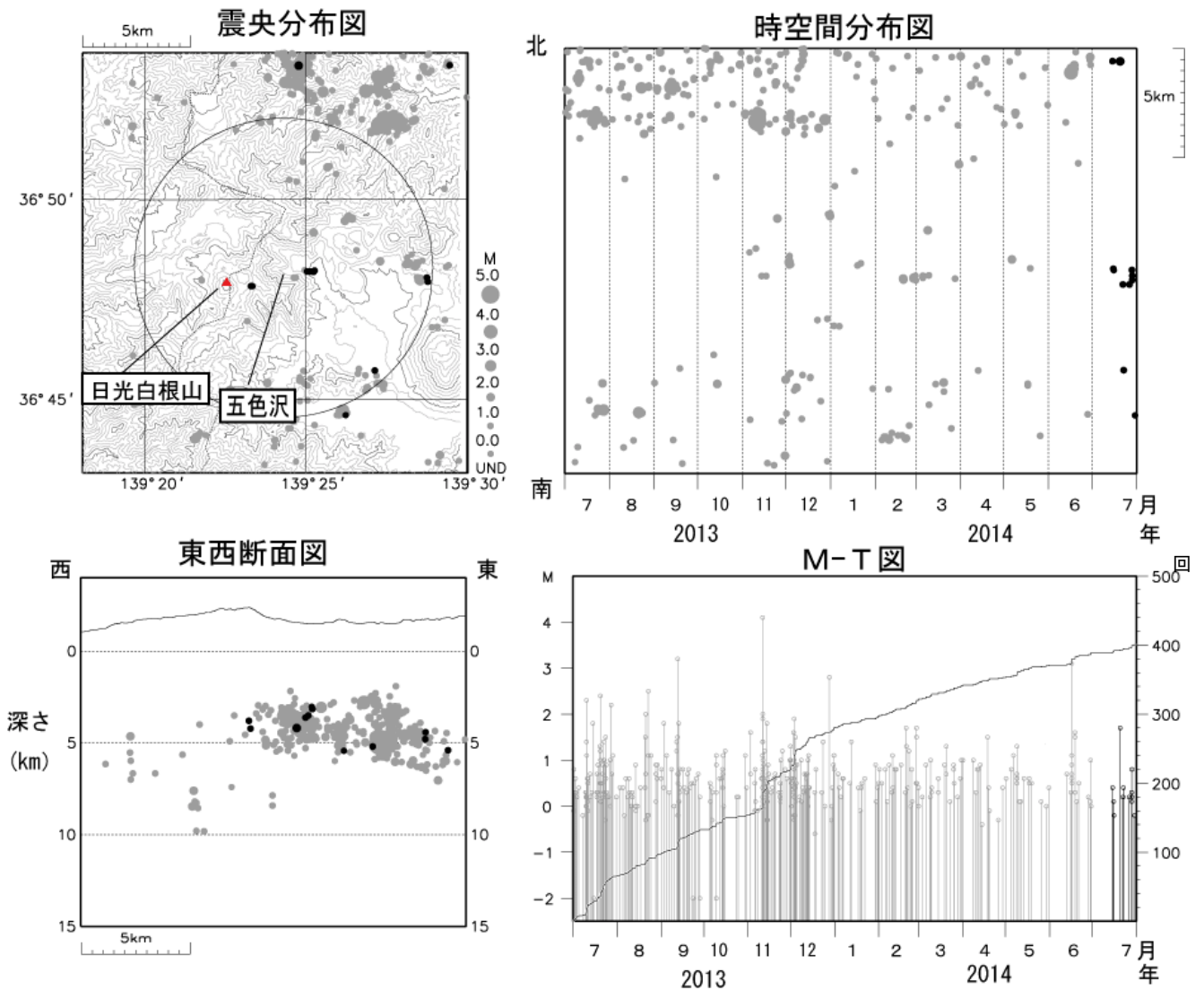
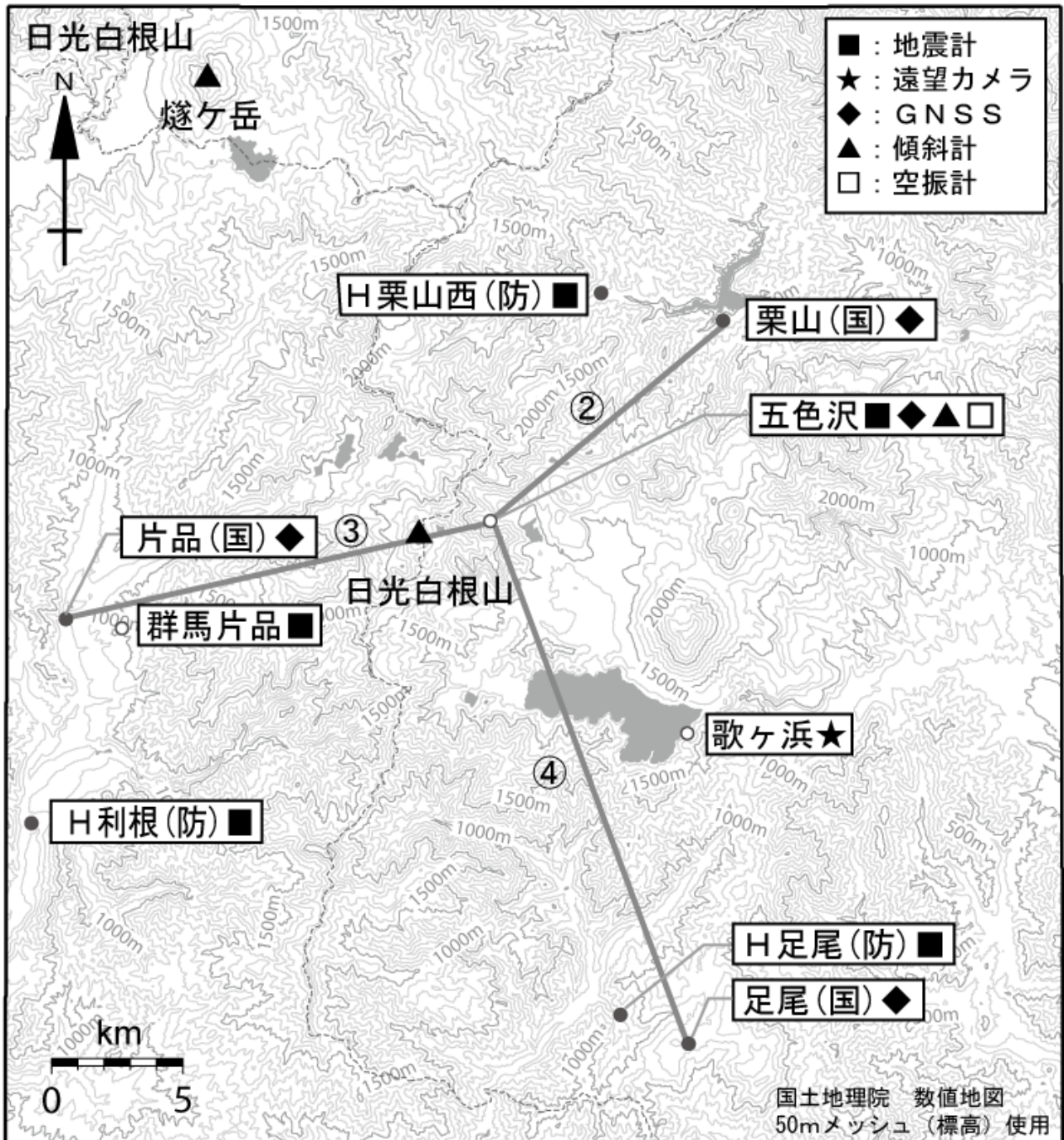


図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2013年7月1日~2014年7月31日)
 : 2013年7月1日~2014年6月30日
 : 2014年7月1日~7月31日

- ・震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震(五色沢でS - P時間1秒以内)のおよその範囲を示します。
- ・M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所

図4 日光白根山 観測点配置
GNSS 基線 ~ は図2の ~ に対応しています。